

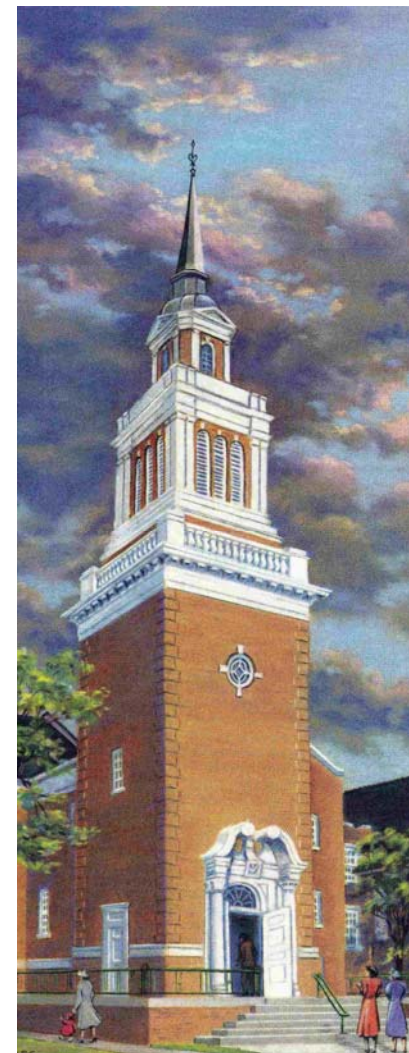
感謝録

荒井 久和子姉	不破 満雄兄	Haddon 理恵姉
加納 幸子姉	小坂 るみ姉	三縄 博兄
三縄 都美子姉	坂田 淑姉	下竹 博兄
下竹 寛子姉	下竹 祐三郎兄	下竹 由美子姉
高谷 和夫牧師	高谷 Kathkleen姉	武井 里花姉

記事: 消息

- * 次の方々の痛みを取り去り、主の御手によって癒やしが与えられるようお祈りください。 陳百合子姉、南部Ethel 姉、江崎Alice姉、不破満雄兄。
- * 過ぎにし聖日(3月10日)
- 高谷牧師の説教: "御霊によって歩みなさい"と題して、ガラテヤ人への手紙 5章13-25節からでした。キリストに召された者には、自由が与えられています。この自由を私たちは、肉の働く機会にするか、それとも、愛をもって互いに仕えるか、どちらでも好きなように選択することが出来ます。しかしパウロはここで、"御霊によって歩きなさい"と命じています。御霊に導かれてこの道を歩く者は、ただ一つだけ、キリストの十字架の愛に縛られる他は、ちょうど目に見えない風が思いのままに吹くような、何ものにもとられない自由があります。更に、自分の欲するところをそのまま行なうことが、即ち御霊の欲するところを行なうことになるという、こんな喜ばしい自由をキリストは、私たちに与えて下さるのです。そして、この道を歩く者はその結果として、多くの美しい御霊の実 -- 愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制、-- を結ぶことが出来ます。
- フルートとレコーダーの合奏: 礼拝では、高谷牧師のフルートと、奥様のレコーダーによる合奏で、受難曲、賛美歌136 "血しおしたたる 主のみかしら"を演奏して下さいました。感謝致します。
- ランチ親睦会: 礼拝後、御婦人方の手になるおいしい御馳走を頂きながら楽しい歓談の一時を持ちました。同じ時間に Howel Hall でミッション・トリップランチが行なわれましたが、出席できないので、日本語部から献金を致しました。
- 第二日曜コンサート: 英語部会員のテノール歌手 Andrew Coffill兄 が歌う懐かしいメロディーの数々と、ピアニスト Anatoliy Torchinskiy氏 の素晴らしい演奏による George Gershwin の "Rhapsody in Blue" を心から楽しみました。

発行: 2013年 3月 5日 ノースショア・バプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
Tel: 773-728-4200 Ext.26 Email: yscroggins@northshorebaptist.org



週報

第3425号
2013年 3月 17日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Congregation

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Tel: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org

受難節第五日曜日礼拝順序

2013年 3月 17日 午前11時 南部チャペル

前奏		武井 里花姉
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
交読文	23 詩篇 96篇	
賛美歌	56 "七日の旅路 やすく過ぎて"	
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		三縄 都美子姉
	ルカによる福音書 19章 1-10節	
賛美歌	90 "ここも神の みくになれば"	
説教		Scroggins 由紀牧師
	「ザアカイの救い」	
賛美歌	512 "わがたましいの したいまつる"	
献金		下竹 博兄
報告		
頌栄	541	
祝祷		Scroggins 由紀牧師
後奏		武井 里花姉
	(礼拝終了:奉仕開始)	

祈禱・聖書学習会 午前9時45分 109号室
指導: Scroggins 由紀牧師
ローマ人への手紙 9章

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

今週の聖句

イザヤ記 43章 16-21 節 詩篇 126篇
ピリピ人への手紙 3章 4b-14節
ヨハネによる福音書 12章 1-8節

憩いの場

祈りについて

あなたは祈る時、自分のへやにはいり、戸を閉じて、隠れた所においてになるあなたの父に祈りなさい。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。(マタイによる福音書6章6節)

私は洗礼を受けるまで、祈りとは自分ひとりでするものであり、人前で祈ることはありませんでしたが、大学時代に青年会の祈りのグループに入っており、彼らが非常に熱心だったので影響されました。お互いに同じくらいの年だったせい、今度の期末テストのために、とか就職のために、とかありとあらゆる事について、祈りのリクエストがありました。それを当時では珍しかったコンピューターでプリントされたリストを見て祈るのです。青年会の事だけでなく教会全体のためにも祈っていました。今考えると、金曜日の青年会の祈りの時間は霊的に教会を支えていたと思います。

主イエスは祈りについて、公的な祈りよりも、隠れたところで行われる祈りの重要性について説かれています。親密なグループで祈りあうということも、隠れた祈り、プライベートな祈りのうちに入るかもしれません。主イエスはご自身もこの地上での生活において、常にプライベートな祈りを大切にされる方でした。公の祈りも必要ですが、本当に神とのつながりを持ちたいなら、隠れた祈りを大切にしてください、日々の生活の中で、神との交流がなくてはならないものになりなさい、と主イエスは教えられています。どうか私たちも日々の生活で祈りに頼り神のご臨在に触れて生きる事ができますように。(スクロギンズ由紀)